

令和5年3月1日号

島野伝太郎一家の

まちなみ通信 No.46

～伝建防災ワークショップ～



もみじ:お父さん、まだ寒い日が続くわね。

建吉:おう、もみじに伝太郎。ほんに寒いう。

伝太郎:こんにち。お父さん。寒いけど、春の訪れもだんだんと感じる時期になりましたね。

もみじ:梅の花も少しずつ咲き始めたわ。

建吉:ほうじゃのう。春が近づいてきとるんじゃのう。

伝太郎:そうそう、今度、宮島町避難訓練があるじゃないですか。僕ともみじもみらいと一緒に参加するんですよ。

建吉:ほうかあ。そりゃあええことじゃ。もしもの時のためにも日頃の訓練が一番じゃけえのう。

伝太郎:みらいもまだ小さいし、もしもの時、どうしたらいいか、何ができるかをやってみて、ことは重要だと思うんです。

建吉:そのとおりじゃ。

やってみんとわからんことやできんことが多いけえのう。

もみじ:そうよね。



自主防災会リーダー研修の様子

そういえば、私はこの前、etto 宮島交流館であった自主防災会のリーダー研修に参加したの。まず講演があって、その後ワークショップに参加したのよ。

建吉:ほう。そりゃあどんなもんじゃったんか?

もみじ:宮島のよ
うな古い木造の
建物がたくさん
あるところで災
害が起こったら



ワークショップの様子

どんなことが起こるかといったお話を聞いて、その後、防災で問題だと思っていることや火災や地震が起こった時どうするかを地図に書き込みながら話し合ったの。家が密集しているから火事がおこると燃え広がるんじゃないかという意見があって、私も古い町並みで火事がおこる

ことを考えて怖くなったわ。

伝太郎:でも宮島では、みんなが火の扱いに気を付けていることもあって大きな火事は長い間ないですよ。

建吉:ほうじゃ。

地元のことをよう知つとる消防団の人と消火のプロの



ワークショップで出された意見(一部)

消防署が協力しとるけえ島は守られとるんじゃ。

もみじ:ワークショップでも、火事なんかの災害が怖いって意見だけじゃなくて、火事の現場に消防署が駆けつけることができるまでの間に、「どれだけ初期消火ができるかが重要!」ということで実際に訓練をすることが大切って意見があったわ。

建吉:町家は間口が狭もうて奥が長いけえ、火事がおこったとき通り側と裏側の二方向からの消火をすることが難しいんじゃ。昔は裏の庭側でそれぞれの家を通り抜けることができとったり、細い小路が今より多くあったけえ、そこからの消火もできよったんじゃが、今ではそんな小路とかも少のうなっしてもうたけえ、消火も避難も難しいところもあるのう。

もみじ:ワークショップのその他の意見で「いざという時、どのタイミングでどうやって避難するか」「どんな機材を使ったら自分が消火できるのか」など、私たちの地区を守るために何をすればいいかを考えるいい機会になったわ。

伝太郎:もみじから今回の研修の話を聞いて、今度の避難訓練も参加しようって思ったんです。いざという時のためにも気合を入れて行ってきます。

ワークショップでいただいたご意見は伝建防災計画の策定に反映させていただきます

講演会「私たちが重伝建宮島でできること」

～奈良井・木曾平沢を事例として～

長野県塩尻市から伝統的建造物群保存の業務に長年携わられた渡邊泰氏をお招きし、重要伝統的建造物群保存地区である「奈良井」「木曾平沢」の保存活動の取り組み事例を紹介いただく講演会を開催します。講演会はどなたでも参加できます。(参加無料・事前申込必要)一緒にこれからの宮島のまちづくりについて考えてみませんか。

講師：渡邊 泰 氏

日時：令和5年3月3日(金)

13:30～15:00

会場：etto 宮島交流館 2階ホール

※ 電話で事前にお申し込みください。

※3月2日(木)まで受付締切を延長します。

都市計画課 TEL(0829)30-9183

渡邊泰(わたなべやすし)氏

長野県旧榑川村において榑川村誌編纂主任を務め全6巻を纏める。塩尻市との合併後も建造物文化財の保護行政に携わる。共著として『木曾平沢・伝統的建造物群保存対策調査報告』、文化庁『伝統的建造物群保存地区制度の実務の手引き』ほか。重要文化財小野家、重要文化財堀内家住宅保存修理工事・活用整備などを行う。

奈良井伝統的建造物群保存地区



木曾平沢伝統的建造物群保存地区



町家の模型が完成しました

宮島工業高校建築学科の3年生が取り組んでいた旧因幡邸の模型が完成しました。大きさは約100分の1の縮尺で、夏から町家について学び理解を深めながら、何度にも分けて測量を行い、図面を作成、3Dプリンターで製作しました。外観だけでなく、建具や中庭なども精巧に作り込まれています。「ぜひ手に取って内部も見たい」との生徒さんからの希望によりetto 宮島交流館で公開しています。

宮島工業高校では毎年1棟ずつ製作し町並みを再現したいとのこと。瓦の一枚一枚といった外観だけでなく、内部まで再現されたこの力作をぜひご覧ください。etto 宮島交流館での公開は3月12日(日)まで、その後、宮島歴史民俗資料館で3月末まで展示する予定です。

